



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東証・名証第一部
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北山 聡 (TEL) (0587) 37-2111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年3月21日～平成29年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	55,155	△0.9	2,457	△14.2	2,162	△11.5	1,926	31.8
29年3月期第3四半期	55,678	△3.2	2,863	3.0	2,443	6.2	1,462	46.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,540百万円 (0.8%) 29年3月期第3四半期 2,521百万円 (32.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	550 74	—
29年3月期第3四半期	417 61	—

(注) 平成29年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	83,556	25,992	27.8	6,634 92
29年3月期	82,578	23,634	25.3	5,972 29

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 23,201百万円 29年3月期 20,909百万円

(注) 平成29年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	4 00	4 00
30年3月期	—	—	—		
30年3月期(予想)				45 00	45 00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「平成30年3月期（第83期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年3月21日～平成30年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	0.4	2,550	△12.4	2,050	△18.6	1,650	13.5	471 62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成30年3月期の通期連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,629,554株	29年3月期	3,629,554株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	132,634株	29年3月期	128,499株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,498,564株	29年3月期3Q	3,501,315株

(注) 平成29年9月21日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び通期連結業績予想について)

当社は、平成29年6月16日開催の第82回定時株主総会において、株式併合に係る議案が可決されたことにより、平成29年9月21日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、当該株式併合を考慮しなかった場合の平成30年3月期の配当予想及び通期連結業績予想は以下のとおりです。

- 1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 4円50銭
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 47円16銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績に支えられ、雇用環境や個人所得の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費の本格的な改善までには至りませんでした。一方、先行きにつきましては、不安定な国際情勢や欧米の金融政策の動向並びに中国経済の減速懸念など、不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を2年目とする中期経営計画（第82期～第84期）『Next Stage ISHIZUKA 84』において、「グループ総合力の結集」をコンセプトとし、営業利益の安定的確保・有利子負債の削減・グループを横断した機能強化に向け取り組んでおります。

売上高につきましては、抗菌剤は海外での販売が好調であったことにより伸張しましたが、他の主要セグメントは伸び悩み、売上高は55,155百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。利益につきましては、ハウスウェア海外製造子会社の操業度向上や為替予約レートの改善もありましたが、売上高の減少とエネルギー価格の高騰などにより営業利益は2,457百万円（前年同四半期比14.2%減）、経常利益は2,162百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,926百万円（前年同四半期比31.8%増）となりましたが、これは、連結子会社である亞德利玻璃（珠海）有限公司の閉鎖に伴い、同社に対する貸付金放棄の申請が中国外貨管理局に受理され、課税所得計算上、貸倒損失として損金処理されることから税金費用が大きく減少したことによるものです。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガラスびん関連

ガラスびんは、食料調味料びんに加えビールびんがビール値上げ前の受注の増加により出荷を伸ばしましたが、前期に旺盛であった飲料水びんの出荷が一巡したことなどにより、売上高は14,240百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

ハウスウェア関連

ガラス食器は、企業向け景品及び貯蔵びんの出荷が減少しました。陶磁器は、海外のホテル・レストラン向け及びエアライン向けの受注が増加しましたが、国内の法人及びホテル・レストラン向けの受注が減少し、セグメント全体の売上高は10,755百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

紙容器関連

紙容器は、小型カートン用充填機の販売がありましたが、一部ユーザーにおける新形状容器への移行などにより出荷数量は伸び悩み、売上高は5,791百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

プラスチック容器関連

プラスチック容器は、出荷数量は堅調に推移しましたが、小型のPETボトル用プリフォームの販売が増加するなど品種構成の変化もあり、売上高は19,866百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

産業器材関連

産業器材は、IH用トッププレートの受注が減少し、また、ガスコンロ用トッププレートも競合先の低価格戦略による影響を受け受注が減少し、売上高は1,512百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

その他

抗菌剤は、アジアや欧州をはじめとする海外での販売が順調に拡大しました。また金属キャップなども出荷を伸ばし、売上高は2,989百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月24日に公表いたしました「第2四半期累計業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,941	5,259
受取手形及び売掛金	12,037	14,547
商品及び製品	12,034	10,768
仕掛品	846	893
原材料及び貯蔵品	4,513	4,356
その他	1,490	1,404
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	36,851	37,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,677	7,589
機械装置及び運搬具(純額)	7,637	7,914
土地	15,784	15,784
その他(純額)	5,491	5,684
有形固定資産合計	36,591	36,973
無形固定資産	262	201
投資その他の資産		
投資有価証券	7,525	8,161
その他	1,301	928
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	8,800	9,064
固定資産合計	45,654	46,238
繰延資産	73	96
資産合計	82,578	83,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,708	6,558
短期借入金	13,975	14,397
1年内償還予定の社債	1,242	733
未払法人税等	341	203
賞与引当金	727	363
関係会社整理損失引当金	25	—
その他	6,304	5,501
流動負債合計	29,324	27,758
固定負債		
社債	2,860	3,938
長期借入金	12,853	10,921
役員退職慰労引当金	66	65
汚染負荷量引当金	397	375
厚生年金基金解散損失引当金	8	8
退職給付に係る負債	5,962	5,954
その他	7,471	8,541
固定負債合計	29,620	29,805
負債合計	58,944	57,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	3,490	5,277
自己株式	△288	△297
株主資本合計	13,262	15,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,731	3,192
繰延ヘッジ損益	61	47
土地再評価差額金	5,338	5,338
為替換算調整勘定	179	148
退職給付に係る調整累計額	△665	△565
その他の包括利益累計額合計	7,646	8,161
非支配株主持分	2,725	2,790
純資産合計	23,634	25,992
負債純資産合計	82,578	83,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年12月20日)
売上高	55,678	55,155
売上原価	43,826	43,771
売上総利益	11,852	11,384
販売費及び一般管理費	8,988	8,926
営業利益	2,863	2,457
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	84	122
受取賃貸料	114	119
デリバティブ利益	255	—
その他	138	91
営業外収益合計	597	336
営業外費用		
支払利息	352	339
為替差損	448	44
その他	216	246
営業外費用合計	1,017	631
経常利益	2,443	2,162
特別利益		
関係会社整理益	—	52
特別利益合計	—	52
特別損失		
固定資産除却損	41	—
特別損失合計	41	—
税金等調整前四半期純利益	2,402	2,215
法人税、住民税及び事業税	532	404
法人税等調整額	288	△231
法人税等合計	820	173
四半期純利益	1,581	2,042
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,462	1,926

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年12月20日)
四半期純利益	1,581	2,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	463	442
繰延ヘッジ損益	240	△13
為替換算調整勘定	37	△31
土地再評価差額金	136	—
退職給付に係る調整額	61	100
その他の包括利益合計	939	498
四半期包括利益	2,521	2,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,433	2,441
非支配株主に係る四半期包括利益	87	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,328	11,018	5,904	20,204	1,552	53,007	2,670	55,678	—	55,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	20	—	369	—	390	4,333	4,723	△4,723	—
計	14,328	11,038	5,904	20,573	1,552	53,398	7,004	60,402	△4,723	55,678
セグメント利益	445	88	110	1,907	173	2,726	140	2,866	△2	2,863

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額△2百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至 平成29年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,240	10,755	5,791	19,866	1,512	52,166	2,989	55,155	—	55,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	19	—	334	—	354	4,244	4,598	△4,598	—
計	14,240	10,775	5,791	20,201	1,512	52,520	7,233	59,753	△4,598	55,155
セグメント利益	214	171	303	1,388	175	2,253	201	2,455	2	2,457

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円には、たな卸資産の調整額2百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。